

巻頭言

“夢”あるまちづくりに向けて

平群町長

奈良県国民健康保険団体連合会理事

岩崎 万勉



平群町は、奈良県の北西部に位置し、日本最古の歴史書「古事記」にその地名「平群」が登場します。また、古今集などに詠われた竜田川が流れる緑豊かなまちです。その一方で、大阪都市部へは一時間以内にアクセスできる交通利便性の高いまちであります。

これまで「賑わいづくり」のために、都市計画を見直し、国道168号線バイパス沿道へ大型店舗誘致や企業誘致などにより地域経済の活性化に繋げてまいりました。

さらに、長年の懸案事項であった中央公民館と図書館の建て替えについては、それぞれの機能を集約した（仮称）文化センター・図書館」建設事業に取り組んでいます。

この施設は将来にわたり平群町を発展させる礎となるものであり、高齢者から子どもまで幅広い世代の方が集い、交流するコミュニティ活動の拠点となるもので町の中心地である平群駅前に立地いたします。

さて、国民健康保険におきましては、

平成36年度の県単一化に向け一歩踏み出しました。小さな町では医療費の動向により、保険料負担が大きく左右されます。規模の拡大により財政面で安定することは好ましいことです。また、事務共同化が一層拡大し、今までなかなか手を付けられずにいた医療費分析等々への支援が強化され、更なる医療費抑制や健康増進に向けた対策の一役となればと期待しているところです。

平群町では、健康寿命奈良県一位を目指す取組として、健康へぐり21計画実施の要である83名のヘルスボランティアの方々と共に「健診を受けて伸ばそう健康寿命」をスローガンに健康づくりと介護予防の取組を進めています。また、平群町独自の取組に加え、統一化のメリットである県内市町村との連携を模索しながら、「夢あるまちづくり」を推進してまいります。

